

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 外出支援の基本として、毎朝の買出しや外周掃除・散水等には、交代で参加していただき、出不精の方や押し車・車椅子利用の方にも、外出の機会を確保できる様に継続的に配慮している。 昨年より単独、複数名での自由な散歩や外出について試みてきたところ順調に推移している。 その後、入居者さんの入れ替わりや、能力等にも変化が生じているが、外出に適した季節の始まりとともに、更なる継続に努めたい。	入居者さん単独、複数名での買い物や散歩等、職員付き添いなしでの外出を日常生活とし、地域住民の方々との交流を更に広げて、自立した生活を地域住民の一人として楽しんでいただく。	①現在、入居者さん単独、複数名での買い物や散歩等、職員付き添いなしでの外出が利用者さんの能力に応じてできている。 ②参加者拡大に向けて、入居者別の嗜好や外出能力、参加者の組み合わせ等を更に調査・分析する。 ③これから夏に向けて、早朝(朝食前)の自由散歩について検討して試みる。 ④朝の近隣清掃の際には、職員も加わって、近隣の方々との親しみが一層増すように務める。 ⑤地域住民の方々との交流を広げて、普通の地域住民としての生活を楽しんでいただく。	5 ヶ月
2	3	○事業所の力を活かした地域貢献 これまで運営推進会議や町会・老人会の役員会などで、地域の問題、高齢者生活問題等の具体例を話し合ってきた。具体的な地域連携についても道筋が見えてきたので、順次実行の段階となった。また、引き続き、地域の高齢者生活相談所として、近隣や通りがかりの方の見学や介護保険についての相談に、懇切丁寧に状況に応じたアドバイスを継続していきたい。	地域の一員として、災害等の際にもお互いが安心して暮らせるように、支え合う関係を深めていく。また、GHあいむとして積み上げてきた認知症の人の理解や接し方について地域の方々にアドバイスを行い増加する認知症の方の生活の一助になるべく努めたい。	①運営推進会議、老人会役員会、住吉区実務者会議高齢者専門部会の各会議において、情報収集とニーズ調査をこれまで行ってきた。 ②地域住民の方々には、入居者の方々の方々の日常の買出しや自由散歩を通じて、認知症でも自立した普通の生活を楽しめることを見ていただいている。 ③あいむ職員数名が、サポートキャラバンメイト講師資格も取得して、認知症に対する啓蒙活動をさせていただき準備を整えている。 ④老人会・町内会の勉強会の機会を得て、認知症の人の理解や接し方について地域の方々にアドバイスを行う。 ⑤火災時の地域住民協力のみならず、地域社会での災害時相互協力について話し合っていく。	8 ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。